

大阪公立大学
現代システム科学域

2022年度 ユネスコスクール特別選抜、
スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 特別選抜
学力試験問題

小論文

2021年 11月 20日

注意

1. 問題冊子 1 部(表紙を含め 5 枚)と解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚があります。試験開始の合図後、ただちに枚数を確認してください。
2. 試験開始後、解答用紙の所定の欄のすべてに受験番号及び名前を記入してください。
3. 解答は、解答用紙の所定の箇所に記入してください。
4. 定められた字数には、句読点も 1 字として数えます。
5. 解答時間は 90 分です。
6. 試験終了後は、解答用紙を回収します。(問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。)

【問題 1】

次の文章をよく読み、また添付の資料（図 1）を参照しながら以下の設問に答えなさい。

著作権の関係により公表しません

著作権の関係により公表しません

著作権の關係により公表しません

(出典は、小松貴『裏山の奇人：野にたゆたう博物学(フィールドの生物学)』2014 年、東海大学出版部による。ただし、出題の都合により文章・表など改めた箇所がある。)

問1 文中、下線部「 」の特徴を3点指摘しなさい。

問2 図1を参照し、下記の文章の括弧内に適切な言葉・数字を書き入れ、文章を完成しなさい。なお、解答は、解答用紙の解答欄へ記入しなさい。

著者は、アシナガキアリの（ a ）内において、1時間 20 個体のシロオビアリヅカおよびミナミアリヅカを観察した。その結果、（ b ）個体のシロオビアリヅカはアシナガキアリから攻撃されたが、（ c ）個体のシロオビアリヅカは攻撃されなかった。また、全体の（ d ）%にあたる（ e ）個体は、アシナガキアリから口移しで餌を 4～8 回もらっていた。一方、ミナミアリヅカは、すべての個体で（ f ）回以上攻撃され、最も多いものでは（ g ）回も攻撃されていた。その上、口移しで餌をもらう回数は（ h ）回であった。これらのことから、（ i ）よりも（ j ）の方がアシナガキアリと親密であると言える。

問3 文中、二重下線部「 」と「 」について、250字以内で、著者の考えに即し説明しなさい。

図1

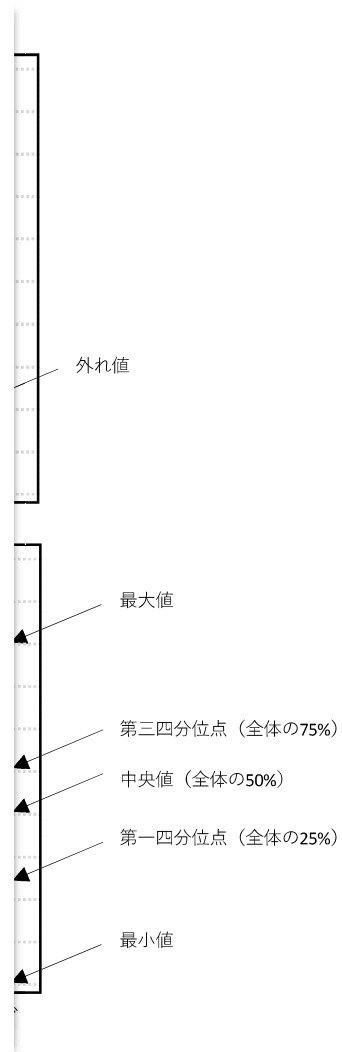


図1